

議会報告会記録（平成 22 年 7 月 20 日（火） 北部公民館）

1 部 議会報告

問：議案 50 号駐車場条例について

1 時間 100 円、上限 1,800 円となっているが、市外の駐車場、神戸市なら 1 日置いていても 1,000 円という上限があるが、そのあたりももう少し考えてされたほうがいいのではないか。ちょっと高すぎるのではないか。北播近隣市町との駐車料を平均して見ておられるのかどうか。

市役所前の駐車場。隣に職員駐車場がある。加西市は財政が厳しいと言われているのになぜ職員からたとえ 2,000 円でも 3,000 円でも取ったらいいと思う。10 年ほど前の区長会からも意見が出されている。いっこうに前に進んでいない状況に受け取られるが。

答：市営駐車場を自動化する。1 時間 100 円は安い。上限が高いとは思える。委員ではなかったので傍聴していた範囲では、その議論はなかったように思う。

10 年ほど前に、どうして職員駐車場を有料にしないかとあったが、あそこは借り地になっている。お金を取らないということで土地を借りて提供しているので、それ以外の使い方ができない。お金を取る使い方ができないということで議会は判断をした覚えがある。

答：執行者側から答弁があった。上限については、西脇 1,200 円、三木 1,900 円、洲本 1,900 円、加古川 4,300 円ということになっている。姫路は 800 円と安い。議論を交わした全県下市で見ると 1,800 円ぐらいではという意見であった。

問：銀行前の駐車場。今はハンコ押してもらって無料。それはどうなるのか。

答：今までと同様の扱いができるように銀行から支出すると聞いている。

問：自動でもか？

答：自動でもできるように考えていると聞いている。

問：議案 51 号 北条中地震改築工事の請負締結について

北条中学校が簡単に立て替えになってしまったという気持ちがある。注目を集めている中で北条中学校がこんな形で収まってしまうことは議会としてどのように対処されていたのか。経緯を聞かせてほしい。

答：急遽決まった形である。今までの、本来の議会のあり方だったらこのようなことが議会の中で議論されて、それでもって決定されていくプロセスをしていた。ところが今回はなかった。

2 部 意見聴取

① 議員定数について

意見：12 名でよいのではないか。

② 学校再配置計画素案について

問：神戸新聞で学校統合問題が出ていた。昨年フォーラムがあったが、コロコロ変わっているのはどういうことか。

教育長が 9 月で辞められることだが、何を残して辞められるのか？

地元のことを知っておられる方が教育長をされるべきだと思うが。

答：八巻教育長について、市長が議会で申したのは、2月か3月ごろに辞表をもらったと。それを保留していたらしい。理由について議会で申したのは竺沙さんが議会で3回提案された。その人が2回通らないので辞めると。相当、県の教育委員会やいろんなところへ頭下げて頼んで回っていた。自身が辞職するしかないということである。

問：学校の再配置計画素案が発表された。11校を5校に。突然に聞かされた訳であるが、聞くところによると議会への報告もなかったというふうなことを聞いている。端的に聞くが順序として議会に報告がなくてこういったものを突然市民の皆さんに、たとえ素案にしる発表するのは、こういう順序でOKなのかどうか。

答：議会を無視した行為で許せないと思っているが、市長の今の態度は常に議会に報告せずに区長会に先に報告されたりしている。議会としては不愉快であります、市長の行動としてはこのような態度をとられている。抗議をしているが改まらない。あらゆる事が、包括的民間委託についても議会に報告されていない。先にマスコミ報道されている。

問：順序とすれば、議会に報告もあってその後一般に発表されるというのが順序なんですね。それはまた議会の議員さんに注意してもらいたいと思うので宜しく願いしたい。

問：議会に通してもなかなか前に進まないから、そんな風になるのと違うのか。普通の人から見ても本当に前に進まないのはわかります。今時、女性でも家の会計持っていて前に進まんとオロオロしてはやっていけない。それと一緒に。議会もちゃんと審議すればいいけど何でもかんでも反対ばかりやからそうになっていると思う。そういうことがわからないのか。しっかりした男性方。

答：何でもかんでも反対ばかりと言われていたが、たくさんの条例が出ているがほとんど通っている。一部どうしても市民全体の利益にならないということについては賛否で決定しておりますが、ほとんどの議案は通っていることについてはご理解頂きたい。

答：学校問題。重要な問題。校区というのは小学校があって成り立っていくわけでありますから、充分議論をしながら進めていかなければならない。ただし、1クラス3人や5人になっても校区守れるのかというそれはまた、子どもの教育上の問題など難しい問題もあると思う。そうなれば統合やむなしと思う。今すぐしなければならぬ、また場所の問題いろいろあると思うのでできるだけご意見、お考えを出していただければと思います。

問：学校問題については多くの方が意見を述べられると思うが、宇仁地区に住んでいるが、宇仁小学校建設促進の世話役をしている。16年8月18日多加野区長会から議会に請願をした。宇仁小学校は50年。今のような学校でいいのか。しかし、議会としてそれを真剣に取り上げて頂いたかどうか。非常に疑問に思っている。

問：先ほどから話がでていますが、教育委員会事務局案なるものでもって大々的に加西市内でタウンミーティングをやられた。そしてその中でいろんな意見が出された。宇仁へも東郷さんと八巻さんが20年11月7日でしたか、来られてタウンミーティングで宇仁小学校を建設しますと、建て替えますと言われた。議員の方々も来られたと思う。そしてその話がどのようになっておるのかわからないうちに突如6月18日の神戸新聞にこのような素案がでた。早速私も、副市長と経戦室長と教育長に出会いに行った。あまりにも唐突ではないか。物事の進め方を。今回も言いかけたらキリがないが、全国に誇れる教育都市うんぬんとうたっているが中身が伴っていない。12校を5校にすることによってハイレベルになるんですか。あまりにも市民の皆さんに出す素案としてあまりに低すぎます。箱を建物を集約していこうと、財政的な観点からしかとらえていない。こういう問

題についてはもっと教育の質、小学校はどのようなものであればいいのかということをもっと議会も真剣にやってもらわないといけないと思う。意見を聞いてもらうことは結構なことであるが、もっと中身を深くやっていただきたいと思う。

小学校問題は、私ども宇仁の小学校建設促進協議会はどんな気持ちでやっておるのかというと、小学校というのは、江戸明治そういう中で西在田あるいは日吉あるいは宇仁の寺子屋からスタートしている。おそらく近くに神社があると思う。それらが明治になって学校というものが形作られてきた。どういうことを意味しているかといえば地域の拠点であり、地域の核である。地域を構成する核とすれば学校があるということ。それを経済合理性の観点から一刀両断に采配する市当局に対してもっと市会が教育とはなんだともっと勉強してもらってぶち当たってもらわないといけないと思う。

北条中学校の問題にしても、皆さん方知らないと言われる。知らぬで済むはずがない。そんなことをよく堂々と言えるもんだ。おかしい！だから小学校問題というのはもっと原点に立ち返って勉強してもらわないと。

こういう中で、何が言いたいかというと今、田舎の方で学校がなくなるということは人が帰ってこないということなんです。したがって、西在田の学校がなくなって日吉がなくなって宇仁がなくなるということはリターンする人、あるいはIターンする人がいなくなってしまうこと。だから小学校というものは教育の場とあるとともに地域活性化の拠点だということをしっかり言及してもらわないと困るということ。これは今日の時間があるとかないとかではなく、そういう問題をもっとしっかりとらえてもらわないと小学校問題解決しないと思う。今から20年30年先のことをいっていると思える。そんな先の話を人口の減少数字をいっばいきつい数字でもってシミュレーションをしてそしていたずらに不安感を惹起するような出し方について議会はもっとしっかり話してもらわないといけない。

豊岡市の教育委員会に行かれたことはないか。聞いたところ豊岡市は50人を切っている小学校が7校あるそうだ。7校の統合問題は地域、地元から統合してくれという声が出ないかぎりやらない。そして単学級の弊害は隣接の小学校と交流しながら弊害といわれるものはカバーしていると言われている。だから経済合理性で学校問題は論じる事自体が、もう少し研究してから市の方もやって頂きたい。数字を見たら30年間で23億でしょ。30年間で23億というのはそんなに統合しても効果が出ない。

最後に宇仁小学校の問題を言わしてください。宇仁小学校は県の教育委員会でも見てもらった。県の文教委員長にも来てもらった。これはひどい。県産材でいろんな方に試算してもらった。建て替えすると3億5,000万。3億5,000万で国の補助が50%ともうひとつ何か交付金があり80%の助成が出るということです。そうしますと加西市の負担というものは7,000万ぐらいになる。そういうことをおそらく知っていて意図的にそのような問題を出してくる。そのことに対してもっと議会の方はしっかりやって頂きたい。

答：議会もこの間少なくとも宇仁小学校の請願について全会一致で進めてきた経緯がある。市長部局は検討経過を一切議会に示さないでマスコミ報道し、みなさんにインターネットで公表するとともに議会にも結論を出してきた。ですから今あったような議論はまさに今から展開されるわけで、こういった方向に対して地域から積極的に出していただくと同時に議会の中でしっかり議論をして市の方針がこれしかないのか、どうしていくべきなのか、今のご指摘の点で議論していくことは大事

だと思っている。

問：すでに西在田も日吉も宇仁も小学校を残してくれという請願を出している。そんなことを聞くこと自体がおかしいと思われるが。

問：先ほどの方と同じような話になってしまうが、あまりに唐突に問題が出ると総理の消費税と同じで反発がでると思う。議会の方でもしっかりこの問題を考えて頂きたい。

それと、全国に誇れる教育都市ってどんなものか。近隣よりのハイレベル、これはどんなことなのか。快適な教育環境を実現する。どんなものが快適なのか。エアコンが快適な教育環境ですか。違いますよね。そこらをしっかり考えていただかないと・・・

答：今後充分議論をできるだけみなさんの意向に沿うようにやっていきたいと考えている。

問：北条中学校。あれはいつの間に決まったのか？陰のプロジェクトでやっていたとかいろんな噂が飛んでいたが。

答：設計の補正予算が上がってきたときに議会としては初めて建て替えと言うことを認識したということである。

問：そういうことはおかしいと思いませんか？

答：地震対策は国のメニューに載りながら何とかやりたいと工事は急いでやりたいということで動いておられる。最近の経過から言うと建て替えなければならないという状況になったと思う。他のところもありながら危険と決めた時点は私たちに知らされていない中、国のメニューにのって着々とやられていたという状況である。

問：議員さん全体だけでなく加西市全体の流れがなぜか変わっておかしいのではないかという感がある。というのは、会社であれば長期・中期・短期という事業計画を立てるはず。市長が発言したことに対して、議員があつと驚くだけであつて何の手だてもされていない。自分たちの思ったとおりにいかなければまず反対。都合のいいことだけを通す。どうしてもそんな感じに受け取れてならない。

これからの提案としては、長期・中期・短期とそれぞれ議員がこの問題はこうあるべきと将来像をもっとしっかりとをもってほしいと思う。それによって、議員の数も当然決めるべきだと思っている。やっぱり給料に見合った仕事をしてください。

答：市長のような思いつきの行動を止めていきたいと思っている。今、総合計画を立てているが、市は総合計画に基づいて絵を描いていくのが市政であります。

問：回答になっていないが、私が言ったのは、もっと将来像を見つめた展望を自分自身が持ってほしいということを申し上げたのであつて、市長どうこうという話はしていない。

答：それについては、今総合計画をつくっているのだから、加西市の将来像を真剣に作って参りたいと思います。

司会者：定刻になっているが特にご意見があればどうぞ。

問：せつかくの機会ですから。こんな機会でしか西在田の方、在田の方、日吉の方に私どもの思いを伝える場がありませんから2点。

宇仁小学校のいわゆる建て替えをしてくれと言つて活動してきて13年です。私で3代目である。その間、藤岡さん、柏原さん、そして中川さん、皆さん、選挙の時には必ずやりますよと。それを私どもは信じて十数年間来たということです。今の市長も木造でいいんでしょやりますよ。前の市長は選挙の前に私たちは20年いや19年に立てましょう。そういう経緯をよく知ってもらいたい。そして16年の11月の請願の時に総務委員会から3つの付帯事項がついて、財政問題があります

よ。そして、地域を活性化して頂きたい。こういう話であった。それは宇仁地区出身の議員はよく知っておられることだと思ふ。そういう中で私どもは3年前に宇仁郷まちづくり協議会を立ち上げてなんとか願った地区にしていこうと6つのプロジェクトを動かしている。みんなそれぞれやっている。どんな変化が出てきたかというと1つは、言っていないかどうか分かりませんが、ある地区は子どもは3人作っていこうとか、先週、こども未来課から書類を頂くと15歳以下の子どもがある町では、18%を超えるようになってきた。そしてまた、Uターンの取り組みも具体的にして、人が帰ってくるようなことを必死になってやっている。それは議会のほうであなた方が、まちづくりを活性化してくれるんだったら学校のほうは責任もってやりますよと。そのことを信じて私どもは今前に座っている方々に期待しやってきた。それを今日の話を聞いていると、市長がどうだとか、言ってもあきませんか、そんな話で済むんでしょうか。それは私が議員だったらもっと市長に詰め寄って一人一人が村から聞こえてくるようにやっていきたい。我々だって真剣ですよ。小学校を残すためにはどうしたらいいか考えているから。13年間ほったらかしですよ。50年間全然手が加わっていない。ひとつの機会は平成7年にあった。立て替えるお金2億5,000万でやりましょうと。そのときに地震が来まして、日吉小学校の耐震工事にお金を使ってしまった。そのチャンスがああ地震が来ていなかったらと今でも悔やまれる。そして今の話にありましたように北条中学校が議会も知らないうちに、何も知らないうちに何で建て替わってしまうのか。それは議員として市長部局と対峙してもらわないといけない。そして最後になりますが、市会議員の大きな仕事は町の集会に行っているいろんな話を聞くと言うことをやってください。50%は加西市の仕事をやってもらって結構。後の50%は出身の町の話あるいは応援をして頂いたその町の方々と膝をつき合わせてどんな問題があるんや聞かしてほしいと。そういうことを議会の中でやっていかれたら。加西市の将来像をやってもらっても・・・しかし、誰から選ばれたかということです。今一票一票あの人はやってくれると思って。ただ私ども宇仁地区出身の三人の方にも党を捨て宇仁党として学校をやって頂きたい。このようにいつもお願いしている。どうかですね、私は宇仁小学校だけをやっている。小学校の生い立ちは、どのようなプロセスを踏んで今あるのかということを西在田、在田、日吉、宇仁をあげて頂いて統合の話を凍結してください。10年20年先の話を箱の話だけして、経済合理性だけやって、ハイレベルな教育というならソフトの面をもっと先行するようにしてもらわないといかんと。

司会者：非常に重いご意見としてお聞きしておきます。